



表彰を受けた当社社員(左)と
日本風工学会 植松会長(右)

POTEKAが日本風工学会技術開発賞を受賞

5月25日、東京大学本郷キャンパス山上会館で開催された日本風工学会総会において、当社の超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAが「技術開発賞」を受賞しました。「技術開発賞」は、風工学の発展や社会貢献に著しい成果をあげた技術を表彰するもので、同学会がこの賞を選定・授与するのは6年ぶりのこととなります。

POTEKAによる超高密度地上気象観測網の実用化や突風予測システムの構築、また観測データの提供による地域防災プロジェクトへの貢献などが総合的に評価を受けました。明星電気は、POTEKAを活用した気象ソリューションにより、安全な社会の構築に貢献していきます。

(担当: 気象・管制事業部)



若田センター長、明星石井前社長
(前列左端、前列中央)

JAXA 若田光一センター長が来社

5月26日、宇宙航空研究開発機構(JAXA) 若田光一有人宇宙技術センター長が当社へご来訪されました。

宇宙関連機器の製造現場や試験設備をご視察、製品展示コーナーでは気象防災関連分野など、当社の幅広い製品をご覧いただきました。

ご視察後は、JAXA様向けに製作・納入した実験機器用電源ボックスの開発担当者も交え、宇宙飛行士としての体験談なども伺いながら宇宙開発について懇談を行いました。若田センター長からは、「現場で製造に取り組んでいる方々の熱意のこもった仕事を拝見し、また技術者との屈託のない意見交換など、大変有意義な訪問になりました」とのお言葉をいただきました。

(担当: 宇宙防衛事業部)



展示ブース

「EE東北'16」に出展

6月1、2日、東北地方整備局主催の「EE東北'16」が仙台港 夢メッセみやぎで開催され、IHIグループ4社が共同出展しました。

「EE東北」は今年で26年目を迎え、「広げよう新技術 つなげよう未来へ」をテーマに304社が出展し、過去最高の14,200人が来場しました。

IHIグループブースでは、橋梁建設や建材などの社会インフラ技術の展示に、当社の計測震度計や緊急地震速報受信装置(QCASTシリーズ)、POTEKAを出展し、2日間で225人のご来訪をいただきました。来訪者からは気象や地震に関する造詣の深いご質問、ご意見を多くいただき、復興へ向け新たな防災技術に取り組む東北の関係者の意気込みをあらためて実感しました。

明星電気は防災・減災技術を通じ、東北地区の復興に寄与してまいります。

(担当: 東北支店)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。